

Kanmon Entertainment

企画・主催・プロデュース: 牟田裕



六連島

(第3回)

灯台と桜のコンサート



六連島灯台

1872年点灯

重要文化財

2024年 **4月7日(日)** 開演 13時 六連島灯台(山口県下関市六連島)

渡船 / 行き: 竹崎渡船場 10時出港 (往復乗船券/大人 710円 小人 370円) 帰り: 六連島 15時出港臨時便

曲目(予定): さくらさくら(日本古謡)、スコットランド民謡~灯台の父・ブランドン氏に捧ぐ、関門の歌声、など



牟田裕 Singer



荒田砂代子 Soprano



松浦美穂 Soprano

後援: 下関市、下関市教育委員会 共催: 彦島地区まちづくり協議会 協力: 下関渡船事務所

※受付にコンサート運営協賛箱を設置します。ご来場の皆様のお心をお願い致します。

※昼食はご持参ください。 ※島民の散策ガイドあり。 ※乗船多い場合、臨時便運航。

※雨天の場合、六連島漁村センター2Fで開催。 ※ゴミ持ち帰りご協力ください。

企画お問い合わせ: 関門エンターテイメント TEL.080-1740-9243

六連島には、素朴さがある。島民の人情がある。



山口県下関市の沖合に浮かぶ人口約87名の小さな離島・六連島(むつれじま)。そこには、温かい島民たちの素朴な人情があり、明治新政府お雇い外国人第1号リチャード・ヘンリー・ブラントンの指導で建設された重要文化財・六連島灯台などがあります。その灯台の傍に約70年前に島民の金山貞子さんらによって植えられた2本の桜の木。

この度、その美しい桜と六連島灯台を背景に生かした野外コンサートを開催いたします。六連島を応援する、未来へ繋ぐための企画です。島の穏やかな時の流れの中での「灯台と桜のコンサート」。楽しい船旅20分で到着する、花の島「六連島」へ、お友達もお誘いして是非お越しください。皆様のお越しを六連島でお待ちしています。

参考写真：第2回 六連島「灯台と桜のコンサート」(2023.4.2)



Kanmon Entertainment/関門エンターテインメント活動趣旨

私たちが生まれ育った関門海峡は、命の海です。関門エンターテインメントは、関門地域の歴史文化や地域資源の魅力を活かし、「平和」「絆」「慰霊と祈り」「自然との共生」「感謝」「思いやり」のメッセージを、音楽・歌・郷土劇などを中心とした無形の当地エンターテインメントを通じ、平和メッセージや先人の慰霊、歴史発信およびその価値を高め、郷土愛を育み、感動の心で繋がる人と人との絆を深め、地域の未来に繋ぐための活動です。郷土史家や地域住民とも連携しながら地域の課題解決にも取り組み、参加する全ての人々が、生命への深い感謝と優しさに触れることが出来るような活動を目指しています。将来的には、関門海峡の歴史を世界に発信できる芸術文化的基盤を新しく構築するためのエンターテインメント活動です。 <https://yuumuta.jimdo.com/kanmon-entertainment/>

関門海峡は、古来より陸上・海上交通の要衝であり、日本の歴史上重要な転換点の舞台となってきました。平安時代末の源平の戦いや、武蔵・小次郎の巖流島の決闘などは特に有名な物語として今に伝わっています。幕末の下関戦争を契機とした下関・門司両港の開港から経済的な発展、関門鉄道トンネルの開通、そして現在の街並みが作られる約100年間のストーリーが「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」として文化庁から日本遺産の認定を受けています。この日本遺産を活用する関門海峡日本遺産協議会は、関門海峡の歴史とこの素晴らしいロケーションを活かした地域の魅力を積極的に発信しています。

〈関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～〉

海外との玄関口となった関門海峡には、幕府が英国との間で締結した大坂条約(慶応3=1867年)により洋式灯台が設置されることになりました。ブラントン率いる英国人技術者集団が海峡西側の六連島灯台と東側の部埼灯台を設計し、ともに1872年に初点灯され、日本の文明開化と関門海峡を照らし始めたのです。この双子の洋式灯台の灯に導かれて、江戸時代から北前船の寄港地であった下関港と、背後に筑豊炭田という石炭の一大供給地と若松という石炭中継地を抱えた門司港は、共に特別輸出港や大陸との定期航路の寄港地に指定され、国際港湾都市として一躍注目を集めることとなります。

日本遺産 関門“ノスタルジック”海峡

六連島灯台



部埼灯台



詳細はこちらから！

